平成 25 年１月 25 日

各　位

株式会社フレンテ

上場会社名
代表者　代表取締役社長　小池　孝
（コード番号　2226）
問合せ先責任者　常務取締役　藤原　潤也
（ＴＥＬ　03-3979-2116）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年８月10日において公表いたしました平成25年６月期第２四半期累計期間及び通期の連結業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせ致します。

記

(1) 平成25年６月期 第２四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成24年７月１日～平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
					円銭
前回発表予想（Ａ）	15,300	60	50	20	4.50
今回修正予想（Ｂ）	14,132	△337	△304	△202	△45.51
増　減　額（Ｂ－Ａ）	△1,168	△397	△354	△222	－
増　減　率（％）	△7.6	－	－	－	－
(ご参考)前期第２四半期実績（平成24年６月期第２四半期）	15,516	△222	△196	△178	△47.12

(2) 平成25年６月期 通期連結業績予想数値の修正（平成24年７月１日～平成25年６月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
					円銭
前回発表予想（Ａ）	31,600	410	400	210	47.29
今回修正予想（Ｂ）	30,300	20	60	0	0.00
増　減　額（Ｂ－Ａ）	△1,300	△390	△340	△210	－
増　減　率（％）	△4.1	△95.1	△85.0	－	－
(ご参考)前期実績（平成24年６月期）	30,608	△340	△301	△295	△77.54

（修正の理由）

第２四半期累計期間におきましては、デフレ経済環境の下、引き続き消費が低迷し、経営環境は大変厳しいものとなりました。

このような環境の下、当社グループでは「コイケヤポテトチップス」発売50周年を契機として、製品戦略、組織体制やコスト管理等の社内改革に取り組みました。

主力事業であるスナック部門においては、『50周年記念キャンペーン』に合わせた「50周年記念商品」等戦略製品の投入や、製品ポートフォリオを再構築し、ポテトスナック以外のカテゴリーを強化するとともに、高付加価値製品を拡販する等、販売戦略の面で一定の効果が得られました。しかしながら、販売条件の悪化等により売上構成の高い製品が落ち込んだこと等により、売上は計画を下回る結果となりました。

タブレット部門の売上につきましては、新たなカテゴリーである乳酸菌ＬＳ１を配合した健康系タブレット「スーパークリッシュ」が前年を上回りましたが、既存のタブレット菓子「ピンキー」の低迷により当初の計画を下回る結果となりました。

利益面では、全社的なコスト構造改革に取り組み、一部で改善効果が表れ始めており確実に前進はしているものの、第２四半期累計期間における売上高の未達に伴う利益の減少を吸収するには至らない見通しとなりました。

以上により、第２四半期累計期間における業績予想を、上記の通り修正することとします。

通期業績予想につきましては、第３四半期以降も市場環境は引き続き厳しいものと予測しております。このような環境下において、新たなカテゴリー製品の展開による売上の増加を見込むとともに、製造原価の引下げや販売費及び一般管理費の削減を行なってまいりますが、最近の業績動向を踏まえ、売上高、利益とも下方修正いたします。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。

以　上